福島第一原子力発電所の状況

平成 25 年3月 13 日
東京電力株式会社

＜1. 原子炉および原子炉格納容器の状況＞ (3/13 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉圧力容器下部温度	原子炉格納容器圧力*	原子炉格納容器水素濃度
1号機	淡水注入中	炉心ｽﾌﾟﾚｲ系：約2.0 ㎥/h	18.3 ℃	105.8 kPa abs	A系: 0.10 Vol% B系: 0.12 vol%
		給水系：約2.4 ㎥/h			
2号機	淡水注入中	炉心ｽﾌﾟﾚｲ系：約 5.5 ㎥/h	32.0 ℃	7.66 kPa g	A系: 0.06 Vol% B系: 0.07 vol%
		給水系：約0.0 ㎥/h			
3号機	淡水注入中	炉心ｽﾌﾟﾚｲ系：約3.5 ㎥/h	30.7 ℃	0.27 kPa g	A系: 0.16 vol% B系: 0.15 vol%
		給水系：約1.9 ㎥/h			

＊:絶対圧(kPa abs) ＝ ゲージ圧(kPa g) ＋ 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

【2号機】･H25/3/10～3/16 原子炉注水設備における給水系の信頼性向上工事に伴う事前確認について、原子炉等の冷却状態に有意な変動のないことを確認できたことから、原子炉注水量変更を行い、給水系の信頼性向上工事を実施予定。

･H25/3/10 14:21 当該工事を実施するため、給水系からの注水量を約 1.9 ㎥/h から 0 ㎥/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 3.5 ㎥/h から約 5.5 ㎥/h に変更。

＜2. 使用済燃料プールの状況＞ (3/13 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料ﾌﾟｰﾙ水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	14.0 ℃
2号機	循環冷却システム	運転中	14.5 ℃
3号機	循環冷却システム	運転中	12.1 ℃
4号機	循環冷却システム	運転中	24 ℃

＊:各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

＜3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況＞

号機	排出元 → 移送先	移送状況
2号機	２号機タービン建屋 → ３号機タービン建屋	3/12 10:22 ～ 移送実施中
3号機	３号機タービン建屋 → 集中廃棄物処理施設［雑固体廃棄物減容処理建屋（高温焼却炉建屋)］	2/28 14:02 ～ 移送実施中
6号機	６号機タービン建屋 → 仮設タンク	3/13 10:00 ～ 15:00 移送実施

･H25/1/28 東北地方太平洋沖地震により、建屋および屋外トレンチが浸水している5･6号機について、建屋内の水位上昇を抑制するため、建屋内滞留水の移送を継続しているが、更なる安全性向上に資することを目的として、非常用ガス処理系*1 の屋外トレンチから仮設タンクへの滞留水の移送を開始。

*1 原子炉建屋内の空気を高性能のフィルターで浄化して排気筒より放出する系統で、(A)、(B) の2系列ある。

＜4. 水処理設備および貯蔵設備の状況＞ (3/13 7:00 時点)

設備	セシウム吸着装置	第二セシウム吸着装置（サリー）	除染装置	淡水化装置（逆浸透膜）	淡水化装置（蒸発濃縮）
運転状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスをみて断続運転	水バランスをみて断続運転

＊フィルタの洗浄を適宜実施。

･H23/6/8～ 汚染水･処理水を貯蔵･保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

＜5. その他＞

・H23/10/7～　伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5，6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
・H24/4/25～　地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。
・H25/1/8～　　4号機燃料取り出し用カバーのクレーン支持用架構および燃料取扱機支持用架構の鉄骨建方を開始。
・H25/3/5～　「4足歩行ロボット」および「小型走行車」を用いて、2号機ベント管下部周辺調査を、順次実施。

以 上